

堂谷津の里 自然だより

2024年 4月



2020. 4. 15

芽吹き始めた木々の緑が美しい里の春。可憐な野草が咲きチョウが飛び、ウグイスとシュレーゲルアオガエルの声が谷津に響き渡ります。田んぼには毎日、ダイサギが数羽、ゆったり歩きながら時々えさを啄むのどかな光景が見られます。田植えに向けた準備にも余念がありません。



ツボスミレ



タチツボスミレ



ニオイタチツボスミレ



ニリンソウ



シュウニヒトエ

雑木林の花たち

春は足もとから。可憐でかわいい花が咲いています。



フデリンドウ



ミツバツチグリ



ヒトリシズカ



チゴユリ



イカリソウ



ホウチャクソウ



春のチョウ・トンボ



最近よく見る外来種

アカボシゴマダラ幼虫



清流のトンボ

ニホンカワトンボ



春のトンボ

シオヤトンボ



草はらのチョウ

ツマキチョウ



雑木林のチョウ

ミヤマセセリ



成虫で冬越し

ルリタテハ

<季節メモ>サギは田んぼで何をしてるの？

ダイサギやアオサギが早朝から田んぼに・・・ ゆっくり進んで、くちばしを田んぼの中へ・・・ 狙っているのはほとんどオタマジャクシ。それも貴重なニホンアカガエルのオタマジャクシです。冬水田んぼで一足早く産卵したニホンアカガエル、春になってオタマジャクシになるとサギたちが待っていたかのようにやってきます。ほかのカエルたちよりも早く産卵したのに餌の少ないこの時期、サギの絶好の餌になってしまふなんて。「食べる、食べられる」生きるための自然の摂理です。 写真・編集：晝間

